

第2回登米市総合教育会議会議録

| | | |
|---------|--------------------|-----------------------------|
| 会議の名称 | 平成27年度第2回登米市総合教育会議 | |
| 開催日時 | 平成28年1月12日(火) | |
| | 午後 2時30分 | 開会 |
| | 午後 4時00分 | 閉会 |
| 開催場所 | 登米市迫庁舎3階第3委員会室 | |
| 出席者氏名 | 市長 | 布施 孝尚 |
| | 教育長 | 佐藤 信男 |
| | 委員 | 畠山 信弘 |
| | 委員 | 橋 智法 |
| | 委員 | 小野寺 範子 |
| | 委員 | 大久保 芳彦 |
| 欠席委員 | なし | |
| 傍聴者 | なし | |
| 事務局職員氏名 | 総務部長 | 千葉 博行 |
| | 教育部長 | 志賀 尚 |
| | 理事兼教育部次長 | 高橋 秀広 |
| | 参事兼教育総務課長 | 伊藤 隆敏 |
| | 教育企画室長 | 岩淵 公一 |
| | 学校教育課長 | 永浦 広巳 |
| | 活き生き学校支援室長 | 菊 祐二郎 |
| | 生涯学習課長 | 佐藤 嘉浩 |
| | 文化財文化振興室長 | 佐藤 貞光 |
| | 市長公室室長補佐 | 幡江 健樹 |
| | 教育総務課課長補佐 | 伊藤幸太郎 |
| 議題 | 議題1 | 平成28年度登米市教育基本方針と重点的取り組みについて |
| | | |
| | | |
| 協議結果 | 議題1 | 決定 |
| | | |
| | | |

| | | |
|---------------------------|------------------------------|---|
| <p>議題・ 発言・ 結果</p> | <p>司会・志賀 教育部長</p> | <p>開会（午後２時２９分） 定刻となりましたので、ただ今から、平成２７年度第２回登米市総合教育会議を開催いたします。開会時間は午後２時２９分とします。 初めに、市長より開会のごあいさつを申し上げます。</p> |
| | <p>布施市長</p> | <p>あいさつ 皆さん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお 願い申し上げます。 平成２７年度第２回目の登米市総合教育会議の開催となりました。 本日教育委員皆さんにご議論いただきます内容は、平成２８年度登米 市教育基本方針と重点的取り組みについてです。様々な御意見をいた だきたいと思ひます。 教育の取り組みの中で、学校教育でも社会教育の分野でも、いろい ろな課題や状況等の変化が出てきていると思ひます。 平成２８年度教育基本方針を通して、これらの課題に対して、どう立 ち向かっていくのか、市と教育委員会が、共通の認識を持ち、その取 組みに当たっていきたくて思ひます。 この総合教育会議設置の一番の経緯は、行政当局と教育機関が連携を 密にしなが、より実効性があり、よりスピーディな形で、それぞれの 諸課題に対応していくことが求められているところであると思ひてい ます。 ぜひ、この総合教育会議の中で、委員皆さんから忌憚のない御意見を いただきなが、新年度に向けて、より有意義で効果の高い取り組みと なりますよう御指導御協力をお願いいたします。</p> |
| | <p>司会・志賀 教育部長</p> | <p>それでは、議題に入らせていただきます。議事の進行に当たり、議長 は布施市長をお願いします。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>それでは議題の（１）、「平成２８年度登米市教育基本方針と重点的取 り組みについて」、事務局から説明をお願いします。</p> |
| | <p>説明・伊藤 教育総務課 長</p> | <p>それでは、次第を１枚めくっていただきまして、初めに「登米市の教 育の振興に関する施策の大綱」体系図について、御説明させていただきます。 順を追って、概要を説明いたします。 この資料の上の部分につきましては、３段階の矢印で示しております が、これは第１回総合教育会議で決定いただきました「登米市の教育の 振興に関する施策の大綱」の体系図でございます。 下の部分で太枠で囲っておりますのが、１１月２７日の先の教育委員 会定例会議で決定いただきました、平成２８年度登米市教育基本方針の 抜粋でございます。 表題の下にあります本文が、平成２８年度登米市教育基本方針の主眼 となります。朗読となりますが、読ませていただきます。 「生涯にわたって、文化的で生きがいに満ちた人生を歩むために、自 ら学ぶことを楽しむとともに、これまで培われてきた歴史や文化を様々 な場面で享受し、新たな歴史や芸術・文化を主体的に創造する心身とも にたくましい市民の育成を目指します。そのため登米市総合計画を踏ま え、現代社会の動向と市の将来を展望し、教育環境の整備充実を図りま</p> |

議題・
発言・
結果

す。同時に、生涯学習を基軸とした学校教育、社会教育、スポーツの推進など、一貫した教育の充実発展を目指し、生涯学習社会にふさわしい人づくりを進めます。さらに、震災復興に向け、互いに強い絆を結び、社会全体で生きる力の育成を図ります。」と、主眼を謳っております。

そして、教育の二つの柱、左に学校教育、右に社会教育を配置し、それぞれどのような取り組みを進めていくのか示しております。

まず左の学校教育ですが、大きく二つに分けています。まず、確かな学力の向上と豊かな社会性の育成の中には、(1)として幼稚園教育の中では、①基本的生活習慣の定着のための家庭や地域との連携強化ほか7項目を重点的に取り組んでまいります。

(2)小・中学校教育では、①成就感や達成感が得られる「分かる授業」を目指した学習指導の充実ほか10項目を掲げております。

その下の段は、学校と家庭・地域が連携した、地域とともにある学校づくりの推進として、①家庭・地域・学校・市の協働体性の構築と、一体となったより良い教育の実現ほか5項目に力を注いでまいります。

右の方に移ります。2番目の社会教育です。大きく3つに分けています。1段目が生涯学習、真ん中がスポーツ振興、一番下が文化振興となっております。

心豊かな生活に向けた生涯学習では、(1)市民の学習機会の提供と学習する場の充実、(2)学びの成果を生かせる活動への推進(3)として、子どもの創造性と自主性を育む地域教育力の向上を掲げ、それぞれの下に二つずつ、具体的な取り組みを挙げています。

地域に密着したスポーツ活動の推進では、(1)生涯にわたるスポーツ活動の推進、(2)スポーツを身近に楽しめる地域スポーツ活動の充実、(3)として、競技力向上に向けたスポーツ指導者の支援と育成、(4)スポーツ活動を支援する環境づくりを掲げて、その下に11項目の具体的な取り組みを挙げて、推進していくこととしています。

文化が息づく町の創造では、(1)市民の文化的な自主活動への支援、(2)文化・芸術を創造するための環境の整備、(3)として、文化財の保護、保存の充実を掲げまして、具体的に7つの項目を挙げ、それぞれ重点的に、平成28年度取り組んでいくという計画でございます。

よろしく御理解をお願いいたします。

議長・布施
市長

ただいま、平成28年度登米市教育基本方針につきまして、説明がありました。教育委員の皆さんには、十分御理解をいただいていることと思います。

私からは、「人づくり」という視点での課題や、取り組みの上での重点ポイントなどにつきまして、委員の皆さんの話、考えをお聞きし、共通の認識を持って当たってまいりたいと思いますので、色々とお見聞などをお願いしたいと思います。よろしくお見聞いたします。

教育委員・
畠山委員

学校では教育目標としての目指す子ども像、登米市においては、登米人像があると思います。

私が考えます登米人像、人づくりで特に育てていかなければならないところは、学校教育であれば、市内の学校で不登校がかなりの率になっていきますので、自立心、自分を律する心などとか、コミュニケーション

議題・
発言・
結果

能力を育てていく必要があると思います。友達とうまくコミュニケーションがとれなくて、お互いに傷ついてしまうことがあるかと思っています。このことは、同級生や学校の中だけでなく、大人ともコミュニケーションが取れて、自分の考えを発信していけるような登米人の育成が大事であると思います。

また、合併して10年は経ちましたが、9町が一つになりましたので、登米人としての郷土愛を、学校教育の中でどのように構築していくのかというようなことを中心にこれから進めていくことによって、各学校の目指す児童像、生徒像が伸ばされていくのではないかと考えています。

議長・布施
市長

畠山委員から人づくりについての考えを、話していただきました。私としても、人づくりは、目に見えることだけでなく、多感な幼少時期から、いかに地域との関わりを持つか、いろんな物事に触れてもらうかが、その時は気付づかなくても、後でいろんな物事に気付く大切なことだと考えています。

教育委員・
橘委員

特に、小中学生の皆さんには、人づくりということで、社会性をどう身に付けていくのが、大切だと考えています。これは同世代の中で培われるものもあると思いますが、異世代間の交流が大切だと考えています。そういった中で、道徳的な部分になるかもしれませんが、礼儀とか作法、他者を思いやる心、尊敬の念といいますか畏敬の念を抱くような体験をすることが、すごく大事なことと考えています。

宮城県では志教育を進めています。これは、職業体験、キャリア教育の部分もあると思いますが、心の部分、心のありようもあると思っています。武士道を連想するのですが、礼儀作法、礼法が含まれていると考えています。自分も寺の住職で、教育と宗教は切り離して考えなければなりません。例えば、お寺の生活での規則正しさとか学ぶべきものやヒントになるものなどもあると思います。

このように道徳的な部分で、子どもたちが体験する機会などがあればいいのかなと思っています。

異世代交流については、地域の皆さんとの交流もありますが、豊里や新田の小中一貫教育の中で、年上の生徒が小さい子どもたちを思いやったり、低学年の子どもたちは、お兄さんお姉さんに親切にされたりする中で、自分もいつかはそうなりたいとか畏敬の念に近い気持ちを持ってくれるのではないかと期待しています。

そのような活動として、スポーツ活動もそうですが、ジュニアリーダー活動があると思います。ただ現状としては、子どもたちも勉強もあるし、部活動もしなければならぬ、また町域によっても活動の状況に違いがあるようです。ジュニアリーダー活動をする生徒が増えることを期待しています。

また、だんだん各世代のリーダー不足が深刻化しており、これからまた5年10年経過する中で、例えば、区長さんのなり手がいない地区が出たり、リーダーのなり手がなくなってしまうのではないかと心配しています。

こういったことに対して、小中学生のうちから、何か対策ができないものかと思っています。また、異世代での交流ができる組織として、消防団があると思います。私も消防団に20数年在籍しています。消防団

| | | |
|----------------------------------|-------------------------------|--|
| <p>議題・ 発言・ 結果</p> | | <p>では、各年代の地域の皆さんと交流ができています。この消防団も地域づくりに、加担してもらえらる可能性があるのではないかと考えています。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>2人の委員さんから、社会性の大切さ、多くの人と関わること、関わりの中で、気付きの場をどのように作っていくのかというようなことについて、お話をいただいたのかと思います。</p> |
| | <p>教育委員・ 小野寺委員</p> | <p>私は、学校教育の中で不登校が多いことが気になっています。コミュニケーション能力が不足しているのかなと思っています。私が公民館活動や学校の放課後活動に携わっているときに、子どもたちは学校の先生に見せない顔を見せてくれます。また異年齢、縦割りで活動していますので、上の子が下の子の面倒を見てくれます。そういったところを学校の先生は見てくれているのかなと感じます。</p> <p>部活動で勝負が大事だとか、学力向上で成績の良い子どもだけ目をかけるといったことではないですけども、学校の先生の専門性も必要ですけど、学級経営、資質、包容力とか、先生の人間力、そういったところに子どもたちが憧れて、学校も好きになってくれればと思います。</p> <p>縦割り活動として、また小中一貫教育の疑似体験として、例えば、北方小学校と佐沼中学校と一緒に、年に1回か2回か交流があるとか、町ごとにそのような事業があると、中1ギャップも減るのではないかと考えています。</p> <p>またコミュニティスクールを通じて、学校の経営に地域の教育力を生かしてもらいたいと思います。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>これらの課題に対して、具体的にどのように対処していくか、この総合教育会議の中で、連携ができればと思います。</p> |
| | <p>教育委員・ 大久保委員</p> | <p>世の中、社会に出てからも、様々な部分で人との関わりがありますから、豊かな人間性の育成を教育の基本に据えていく必要があると思います。</p> <p>全国的にも定職につかないフリーターだったりニートだったり、引きこもりといわれる人たちが、引きこもりは全国的に15歳以上39歳までで70万人いるといわれています。</p> <p>不登校や引きこもりの児童生徒に対して、社会に出てからの対応力、社会の中で生きていく力、生きるというのは働くということで、社会に貢献することだと思います。その根本となる学びの場を社会環境としてしっかり提供していく、学校に通わせて、学ばせ育てていくことが、大切なことだと思います。</p> <p>今、幼児教育から中学校まで教育を受けることができる環境があるわけですが、いじめや不登校のために学校に通えない問題を、重点的にチームとかを作って、今、解決していかないと、先々恐ろしいなと思います。</p> <p>今、道徳教育がクローズアップされて、心の教育をしっかりとっていくということで、また浅水小学校の公開研究会もありますし、そのようなところに期待していますが、それを支えていく教育環境について、みんなで話し合っていく時期かなと感じています。</p> |

| | | |
|---------------------------|---------------------|--|
| 議題・ 発言・ 結果 | 議長・布施 市長 | <p>大久保委員さんからも、不登校の対策についての話がありました。</p> <p>また、引きこもりの問題については、テレビ、新聞等でも報道されましたが、日本の経済的な損失としても大きい、経済的だけでなく、社会を構成する社会的な損失も大きいといわれています。</p> |
| | 佐藤教育長 | <p>今までの話の中で、不登校も含めて、子どもたちが様々な環境の中で、生きづらい状況があると思います。家庭の状況、学校の状況、社会の状況もあります。一人一人の子どもたちの不登校の要因は、みんなまちまちで、違った要因によって不登校に陥っている状況です。一つの要因であれば、その対策も簡単ですが、それが複雑に絡み合っているという不登校の状況です。</p> <p>従って学校としては、新たな不登校は作らない、教師と生徒の関係を良好にするという対策は、基本中の基本で、絶対に進めていかなければならない取り組みだろうと考えます。</p> <p>今までと同じように一斉指導の中で、全員を見ていくという旧来の指導の在り方では、中々一人一人の子どもに目が届かないという状況が目に見えている訳です。</p> <p>従って、教育委員会では、教師の資質、能力を高め、子どもたちの一人一人のニーズ、考え、性格、行動、そういったものをしっかりと押さえた上で、授業なり学級作りをしていくことが大事であり、そうしないと新たな不登校がどんどん出てしまうという状況がまず一つあると思います。</p> <p>それから家庭の中での教育力が不十分、あるいは生活力といいますか、貧困によるものが結構な割合で、その子どもたちが学校に行けない状況を作っています。いわゆる養育能力の欠如によって、生活習慣がまったく乱れているという状況も、結構な数としてあります。各家庭に対応をお願いするというのは、非常に難しい状況です。これは市の子育て支援課であるとか、スクールカウンセラーであるとかソーシャルワーカーなどの取り組みをしていますが、そういった応援がないとなかなか対応できない状況となっています。</p> <p>また怠け、怠惰といいますか、そういったことで、不登校に陥っている子どもさんもいます。</p> <p>これらの子どもさんに、教育機関の中で一番手を差し伸べやすいのは、学校であります。教師が一番、この状況の中に、入り込みやすいといえます。これらの状況を十分踏まえた上で、先生方の資質、能力、授業力、これが一番基本となりますが、授業力を高めることが一番の解決策になるのではないかと考えています。</p> <p>それから先日、河北新報の社説に「チーム学校」ということが載っていました。社会総がかりの教育実現をとということで、国としても学校の先生方の多忙感を何とか解消しないと、今の状況は打破できないということをも十分承知しています。そのためには、スクールカウンセラーとかソーシャルワーカーとか部活動指導員とかを専門職員として学校の中に配置することによって、先生方が教育の専門職として、仕事に専念できるような環境にしていきたいと思います。それに加えて登米市がやろうとしているコミュニティスクール、いわゆる地域ともにある学校、学校だけで全て解決するのではなく、地域の人たち、家庭と一体となって進めていくことによって、いじめ、不登校も含めて、様々な問題を解決してい</p> |

| | | |
|----------------------------------|------------------------------|--|
| <p>議題・ 発言・ 結果</p> | | <p>きましようと国がそのような姿勢で進めていますので、教育委員会としても、地域の皆さんなどの力をお借りしながら、積極的に課題解決に向けて取組んでいかなければならないと考えています。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>教育長からも色々とお話をいただきました。まず、教育基本方針の内容につきましては、委員の皆さんの合意・決定ということもありますし、私からみても、特にどうのというような意見はございません。</p> <p>基本方針の内容については、共通の認識を持って取組んでいかなければならないと考えています。委員の皆さん、このことはよろしいでしょうか。</p> <p>「はい」の声あり</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>この教育基本方針の取組について、どのように進めていくのかが大きな課題だと思います。</p> <p>教育長から話のありました教職員の資質、能力の向上については、教育研究所をはじめ、それぞれの研修・研究の分野の中で取り組みをしていることと思います。教職員の多忙感の解消については、どのようなサポートが必要か、サポート体制をどうしていくかが、鍵になると考えます。</p> <p>これまでは国の支援策などで、職員の補充などを行ってきましたが、それもなくなってきたという中で、教育委員会の中でどのような取組が必要か、しっかりと精査をお願いします。</p> |
| | <p>教育委員・ 畠山委員</p> | <p>教職員の多忙感の話が話題になっています。私が教育事務所に勤務していた頃は、まだ8つの町あり、8人の教育長がいたわけです。当時は、学校の先生方もかなりの緊張感を持って、教育長に仕えていました。今は一つの市となり、教職員の人事異動などの面からは、前に比べると緊張感が緩んでいるところもあるのではないかと思います。例えば、先生方は、中学校ですと、教科の指導は10年間教えれば、大概是飲み込めます。あとは、生徒指導力とか学級経営力とかうまく指導できれば、子どもたちが自主的に動いてやってくれます。</p> <p>部活を持っている先生は、夜9時頃まで学校にいますので、本当に忙しいですが、教科指導とは違う面での、多忙化があると思います。</p> <p>今、忙しいのは子どもたちだと思います。町や地域の行事に参加して欲しいところですが、なかなか参加できない状況です。例えば地区の市民運動会の選手をお願いするのですが、学校では、その日は部活はしませんとなっても、スポーツ少年団があり、夜9時頃まで練習する少年団もあります。特に中体連が近づいてくると、勉強する時間があるのかと思うくらい、へとへとになって、親や祖父母が軽トラックで来て自転車を積んで帰って、うちに帰ってご飯を食べて、バタンキューとなって、次の朝、また登校していくという状況です。</p> <p>中学校1年のときは、校長先生、部活動の時間を減らしてくださいといていたのが、2年生になってレギュラーになり大会が近づいてくると、校長先生、部活動の練習時間が足りません、日曜日も練習をさせてくださいとなります。そのように子どもたちは、部活、部活で本当に忙しいようです。</p> |

| | | |
|---------------------------|------------------------|---|
| 議題・ 発言・ 結果 | 議長・布施 市長 | <p>委員お話のとおり確かに、子どもたちも忙しいと思います。</p> <p>ただ部活、スポーツなど、それぞれの分野で突き詰めて頑張っている子どもたちは、いろいろな部分できちんとできる子どもが比較的多い気がします。</p> |
| | 教育委員・ 畠山委員 | <p>賢い子どもたちは、授業の時間、真剣に先生の話聞いて、真剣に授業に臨んでいます。そしてできるだけ復習する時間を短くして、試験に当たっています。そして、その短縮した時間を部活に当てている生徒もいました。</p> |
| | 佐藤教育長 | <p>各教育委員さんから社会性の問題、コミュニケーション能力の問題などが出てきていると思います。子どもたちの学校どの人との関わり、部活による人との関わり、スポ少に行っている社会人との関わりもあり、それはかなり濃厚な人との関わり合いをしていると思います。</p> <p>これは、社会性の問題、コミュニケーション能力を作るといううえでは、どうなのでしょう。</p> <p>学校で勉強するということは、子どもたちが我慢する力、物事をやりとおす力などの精神は、普通に学校で勉強することの中でも、築きあげられていると思います。更に部活とか、そういった部分でも蓄えられていると考えています。それを経験したことが、社会に出ても物事を途中で挫折しないでやりとおす力、我慢する力というところは、相当高まっていると思います。このことはこれから生きていくうえには必要な力、能力であると感じています。</p> <p>ともすると不登校になっている子どもたちというのは、そういうやりとおす力、我慢する力が、どこかで十分に育って来てなかったのかなといえると思います。</p> |
| | 教育委員・ 大久保委員 | <p>私が大きな問題だと思いますのは、生活習慣の乱れが、一つの原因なのかなと思います。大体、子どもたちは寝ていません。電車の中でもそうですけど、常にスマートフォンをいじって、無料のアプリとかラインとか夜、夜中でもやっていますから、眠いまま学校に行っても集中できなかったり、勉強に付いていけなかったりするのだと思います。あるいはまた、どうしようもなくなって、学校に行きたくなかったりするのかなと思います。</p> <p>スポ少に行くと、遅ければ夜9時半頃に帰ってきて、ご飯食べて風呂に入れば、寝ることができるのは11時頃になり、朝は早く起こされ学校に行くと尻をたたかれる生活なのでしょうが、その中にプラスして、情報化社会だからしょうがないでしょうが、スマートフォンの利用が出てきました。</p> <p>このように寝ないこと、睡眠不足の生活習慣の乱れが、ストレスにつながったり、不登校の原因の一つになってきているのかなと思っています。このことが勉強しなかったり、無気力になったりする要因になっているのではないかと考えています。</p> <p>また、インターネット社会の中で、人との関わりを好まなくなったりしてきているのかなと思います。これを規制することもできないでしょうから、学校と家庭と一体となって、生活習慣をしっかりできるようにしていくことが、一つの課題になっていると思います。</p> |

| | | |
|------------------------------|----------------------|--|
| 議題・ 発言・ 結果 | 議長・布施 市長 | <p>やはり共働きも増えてきて、食事の時間も遅くなり、全体的に夜型化しているのが大きな問題なのかと思います。夜が遅いから朝が起きられない、朝が起きられないから学校にも行きたくないとなってしまいます。</p> <p>教育の場だけで全てを解決できるものではありませんが、そういった中でも、教育基本方針をしっかりと具現化していくために、何点かテーマを絞って集中的に取り組んでいくことで、課題解決の道筋をつけていくことが必要と考えます。</p> <p>学校現場の中でできること、市の行政組織も含めて連携していかなければならないこと、地域の皆さんとの関わりあいの中で取り組まなければならないこと、この三つのそれぞれの関わりあいの中で、できればそれぞれ一つに絞り込んで、取り組んでいくことが大切ではないかと思えます。</p> |
| | 教育委員・ 橘委員 | <p>教育基本方針の中で、学校、家庭、地域の連携を謳ってはいますが、また具体的な形として、コミュニティスクールとか、学校教育力向上対策事業とか打ち出されていますが、どのように取り組みを行えば効果が上がるのか、実際に効果が上がったとか、成功例とかがあれば、それらを共有できればいいのではないかと思います。</p> |
| | 佐藤教育長 | <p>現在、市内全域、学校ごとに学校教育力向上対策事業を行っていき、効果を挙げています。今の学び支援コーディネーターの活動の様子を紹介してもらえますか。</p> |
| 菊活き生き 学校支援室 長 | | <p>学校で具体的に要望して来ていただいている学び支援コーディネーターは、読み聞かせボランティアや家庭科の授業での指導とか、総合的な学習の中で地域のことを教えていただくということで郷土愛とか、またコミュニケーション力、規律、礼儀というようなことも指導いただいて成果を挙げています。</p> |
| | 佐藤教育長 | <p>平成30年度までに、市内各学校でコミュニティスクールに取り組むこととしていますが、学校運営協議会での熟議によって、今学校に何が必要なのか十分に話し合っ、学校教育力向上地域本部に働き掛けて、協力をもらうということが一体的に行われることになっていきますので、大事な取り組みとなっていきます。</p> <p>これからは、学校の様々な要望をしっかりと押さえた上で、地域にどのような人材がいるかも把握して、地域と一体になった取り組みを更に進めていくことになると思います。</p> |
| 教育委員・ 畠山委員 | | <p>コミュニティスクールに関しては、非常に効果を挙げているところですので、これからもどんどん推進して行って欲しいと思います。</p> <p>行政、学校にお願いしたいことは、今までは学校に来ていただくといいますが、学校が受身になっていたと思います。</p> <p>これからは、学校の子どもたちが、地域の要望とか実態を見極めて、例えば地域のごみ拾いや老人施設への訪問とかを、継続的に行うことによって、子どもたちも地域の役に立っている、貢献しているという自信、意識を持たせることが、やがて郷土愛へと繋がっていくのではないかと</p> |

| | | |
|----------------------------------|------------------------|---|
| <p>議題・ 発言・ 結果</p> | | <p>考えます。地域からお世話を受けるだけでなく、学校からも出て行ってお返しするという、双方向からの学習も必要だと思います。</p> |
| | <p>教育委員・ 大久保委員</p> | <p>学校とか地域では、いろんな課題を持って活動していると思います。それらの解決策の一つとして、お金はかかりますが、外部から専門家、仕掛け人といいますか来ていただき、自分たちが住んでいるところを外から見てもらい、農村には農村の魅力があるはずですし、ここにはこういうことが必要ですとか、アドバイスや課題解決に向けての種をまいてもらうこと、そのような方法はとれないかと思いました。このためには、地域が抱える課題、学校の問題などを洗い出しておく必要はあります。</p> |
| | <p>教育委員・ 橘委員</p> | <p>地域起こしでは、よくありますね。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>知恵を借りるというよりも、よそから来た人を巻き込んで、何かをするということだと思いますね。巻き込み方、一緒にどうしていくのか工夫が必要ではあります。</p> |
| | <p>教育委員・ 小野寺委員</p> | <p>震災後に外部から来て、NPOを立ち上げた人たちもいますので、そういう人の力を借りるのもいいと思います。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>そういう方々に声掛けをして、連携したり、協力をいただいたりすることで工夫の余地、ヒントが生まれることもあるのではないのでしょうか。</p> |
| | | <p>コミュニティスクールの枠組みの中で取り入れることになるのか、工夫する余地はあると思います。</p> |
| | | <p>また、橘委員さんお話のように成功事例を参考にすること、活発に動いている、機能しているところの何が良いところなのか、やり方がいいのか、仕掛けがいいのか、参考にすることができると思います。コミュニティスクールの関わりの中で、情報交換をしていただきたいと思います。また、成果をどう評価していくかについても、大きな課題だと思います。</p> |
| | | <p>佐沼高校の定時制のことですが、今年度入学した生徒の中には、不登校だった生徒もいたそうですが、高校に通うようになっただけでなく、アルバイトを始めている生徒も何人かいるそうです。</p> |
| | | <p>市教委、県教委、それぞれのステージということではありますが、総じて言えることはやはり人づくり、社会にきちんと出られる人をどう育てるか、そういった意味では共通の課題に取り組んでいますので、ぜひ今後も連携をお願いしたいと思います。</p> |
| | | <p>短い会議の時間でしたが、課題とか、望ましい姿の共有はできたと思います。今後も定期、不定期問わず、情報共有する場、また新年度に入ってスタートしているとしても、お互いにその課題についての進捗状況、共通理解を図りながら、軌道修正が必要なことは、しっかりできるように取り組みをしていきたいと思っていますので、総合教育会議の開催への御対応について、よろしくお願ひいたします。</p> |
| | | <p>それでは、最終的な確認ということで、進めさせていただきます。</p> |
| | | <p>本日の議題の平成28年度教育基本方針の学校教育、社会教育のそれ</p> |

| | | |
|----------------------------------|-------------------------------|---|
| <p>議題・ 発言・ 結果</p> | | <p>ぞれの項目、取り組みとして、この内容のとおりということによろしいでしょうか。</p> <p>「はい」の声あり</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>それでは、教育基本方針につきましては、このとおり取り組んでいくこととします。</p> <p>取組内容については、まだまだ十分に詰められていない部分もありますが、相互に理解のあったものとしまして、学校・家庭・地域との関わりの中で、コミュニティスクールをより活用していくこと、活用にあつたては、これまでの取組の事例を十分に参考にしながら、取組の創意工夫を生み出していくことが出されました。</p> <p>また、学校・家庭・地域との関わりということではありますが、地域との関わりのある外部団体、組織との関わりも含め、外部からの考え方も取り入れていくという視点が必要ではないかなどが出されました。</p> <p>学校側からも、今後、家庭、地域へ向けての積極的な情報発信とリクエストをお願いしたいということ、これは各学校へ伝えてもらいたいと思います。</p> <p>それから生活習慣につきましては、市の部局との関わり合いもありますし、学校現場では、「早寝早起き、朝ごはん」の取組などについて、協力をいただいています。これは幼稚園教育、就学前の保育の中でも、いかに浸透させていくか、市当局でもしっかり連携をさせていただきたいと思います。</p> <p>このほか、私の発言の中で、漏れたところなど補足をお願いしたいと思います。</p> <p>「なし」の声あり</p> |
| | <p>教育委員・ 畠山委員</p> | <p>教育基本方針の確認がされたわけですが、このことについての進捗状況、どのように進んでいるか、また難しい部分とか、会議を通じて教えて欲しいと思います。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>数値目標は難しいにしても、年度内の中で、いつの時点までどのようなことに取り組むのか、例えば夏休み明け9月頃まで、各分野で目標を立てて取り組んでほしいと思います。</p> <p>各学校にこのような取組を浸透させるとかでもいいと思いますので、すぐに成果を挙げるのは難しい取組なので、短い期間での取組の目標を作ってもらいたいと思います。</p> |
| | <p>教育委員・ 大久保委員</p> | <p>なかなか成果はすぐ上がるものではないと思いますので、長い目でみていただき、検証は必要と思いますが、目標、取組が途中でぶれることなく進めてもらいたいと思います。</p> |
| | <p>議長・布施 市長</p> | <p>委員お話のとおり、すぐ成果の出るものはないと思います。成果というよりも、芽を作るためこんな行動をする、働き掛けをするという意味での取組ということで、御協力をお願いしたいと考えています。</p> <p>それでは、以上で議題につきまして、終了してよろしいでしょうか。</p> |

| | | |
|---------|--------------|---|
| その 他 | 議長・布施 市長 | 「はい」の声あり これももちまして、議題につきましては終了いたします。 その他について、事務局から何かありますか。 |
| | 伊藤教育総 務課長 | 特にございません。 |
| | 議長・布施 市長 | 委員の皆さん、その他、何かございますか。 「なし」の声あり |
| | 議長・布施 市長 | それでは、以上をもちまして、第2回登米市総合教育会議を終了させていただきます。 皆様、大変ごくろうさまでした。 |